

令和6年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	大泉パティシエクラブ
事業名	お菓子 de つながるプロジェクト

1 令和6年度の取組実績

[活動実績]

①主催イベント（大泉スイーツフェスタ）

- ・来場者数 約2,000名 協力店舗 16店舗
- ・農家との共同の取組として、「農×和菓子講座」を実施
- ・地元団体との連携として、「お茶会」を実施
- ・昨年に続き、学生ボランティアが参加

②他イベントへの出店

機会出店2回、住民参加イベント（③）1回

③住民参加イベント（「ねりま観光ツアー」とのタイアップ）

大泉パティシエクラブの職人によるお菓子作りを学ぶことができる住民参加型のツアーを提案・協働企画したもの。

- ・洋菓子作り（午前）と和菓子作り（午後）に分けて実施。
- ・参加人数 各回12組の親子ペア

④SNSによる認知拡大 ※3月1日時点

- ・フォロワー数 1,816人 753人増（昨年度比）

2 令和6年度の評価

事業者同士の横の連携はハードルが高い中、主催イベントの開催のみならず、住民参加型のツアーの実施や他イベントへの出店を通して、「お菓子のまち大泉」という認知度を向上させたことを評価します。特に、住民参加型のツアーは、地域に根差したイベントであり、次世代の担い手候補づくりにつながるきっかけになったことと思います。今後は、お菓子店舗だけの活動で終わらず、商店街の活性化を目的としたアイディアや社会貢献的な要素などを加え、活動の幅を広げられるとさらに良いでしょう。

一方、活動を持続させていくためには、資金獲得や体制づくりが不可欠で、課題を着実に解決していく必要があります。資金獲得に関する改善策は、イベント開催時に出店店舗から出店料をとる、あるいは、協賛金を募るといったことなどが挙げられます。体制づくりについては、団体のメンバーを増やしていくことや商店街との連携などが望ましいと言えます。活動を継続させる方法は様々ですが、事業を充実させること以外にも、事業の幅を広げ過ぎず、持続可能な事業に集中する舵取りも時には必要です。

来年度は、自立した活動の試金石となります。「お菓子のまち大泉」の認知度がさらに向上できるよう、地域資源を生かし、創意工夫しながら、事業を継続してください。今後のさらなるご活躍を期待しています。